

マスクを涼しくする2つの方法。 ハッカ油があれば、簡単に試せます。

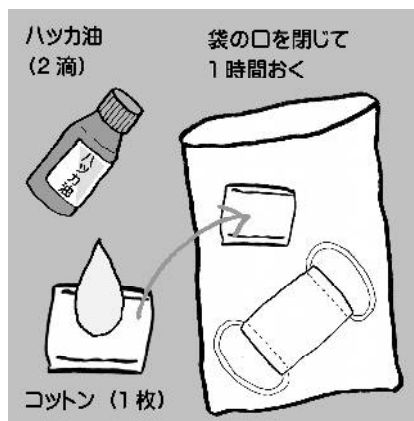
新型コロナウイルスの流行で、マスクが放せない今年の夏。そんなときは、ハッカ油にたすけてもらいましょう。ハッカ油は、肌につけたり香りを嗅いだりすると、涼しく感じる精油です。数滴で、普通のマスクが爽やかに変わります。

穏やかだから試しやすい

ほんのり香る方法

強い刺激が苦手な方は、ハッカ油をマスクに直接つけず、爽やかな香りだけを楽しみましょう。

この方法なら、香りはいつの間にか消えるので、気分を悪くすることもないでしょう。皮膚にハッカ油がつかないので、敏感肌の方も試しやすいと思います。



刺激が強くて気持ち悪い

超クールな方法

とにかく涼しくなりたい！ そんな方は、布マスクをハッカ水に浸しましょう。硬く絞って顔につけると、吸気も顔もひんやりして、寒く感じるくらいです。

ただし、涼しさの分、刺激も強めです。呼吸器や肌が弱い方はご注意ください。

【レシピ①～マスクをほんのり香らせる】

ハッカ油(2滴)をコットンに落とし、マスクと一緒にポリ袋に入れます。1時間おいて香りが移ったら完成です。

【レシピ②～マスクを超クールにする】

水(200ml)にハッカ油(1滴)を落とし、布マスクを浸します。硬く絞って、完成です。

マスク着用をお願い

新型コロナウイルス感染予防のため、お客様には店内でマスクをお付けくださいますようお願い致します。

アロマセラピストも、ご来店からお帰りまでマスクを着用させていただきます。ご理解ご協力の程、お願い申し上げます。

音楽でリラックス 8月の一枚



ニカノール・サバレタの肖像

ニカノール・サバレタ

ハープというと、女性が弾くイメージがあります。そのなかで、サバレタは男性のハープ奏者の代表でした。

ここでは、母国スペインの近代民俗学派であるアルベニス、グラナドスといった小品を弾いています。「グラナダ」、「アストゥリアス」、「スペイン舞曲第5番」など、乾いた中に哀愁を感じさせる演奏です。

編集後記

メイン記事でご紹介したハッカ油のレシピ。7月にツイッターに投稿したところ、「ほんのり香らせる方法」が好評で、300以上の「いいね」をいただきました。

おかげ様で、テレビの情報番組で、今月下旬に紹介される予定です。先日、取材の申し込みがありました。

これからもアロマの楽しさを、いろんな形でお伝えしたいと思っています。

おすすめアロマグッズ(82)

「マザーソープ～ライムミント」

リーフ&ボタニクス

ペパーミントとライムの香りの石けんです。香料には、精油が使われています。

夏にうれしいのは、洗うと涼しくなること。ペパーミントの効果で、顔や指のあいだなど皮膚の薄い部位に泡がつくと、ひんやりします。

季節限定品なので、毎年夏だけの販売です。

